

《変更点》

69年で終わらせます

《参戦勢力》1770～1780年代

- 統戦派(統一国家主権戦線、ファルトクノア側勢力)
 - ファルトクノア共和国.....平和裏に併合したのにイチャモンつけられた皆殺す
 - リスヒューメ.....呼ばれたからにはもらえるもんもらいたい
 - CQD
 - グライニア調和国亡命政府.....だってリスが来いって.....
 - 西ラヤーン共和国.....東ラヤーン返してもらえるって言ってたから.....
 - 東ラヤーン保護領.....
- 連盟派(スラーン宙域国際和平連盟、反ファルトクノア勢力)
 - †最も熱血な大公国ケードウワン.....これはファルの横暴を許す端緒になる！
 - ミルドネジア公国.....対岸の火事だが、ファルの横暴に抵抗しないとヤバい。なんでヴァルエルクは来てくれないのかな(冷や汗)、無理そうだったら手を引きたい。
 - †チャンタ民主戦線共和国
 - †クシエル王国
- 中立・交渉
 - ルクルシルア・クルソーレ・リードスウニファ.....同盟国同士が戦ってて気まずい；基本、チャンタに手を引くことを求める。
 - プルスティア.....いつも通り、少しでも停戦に近づきたいプルスとシルアが意外にも協力する熱い展開。
 - グライニア.....みんな死ね
 - ハディマ王国、ヴィナヤ王国.....どうせ勝てねえし、宇宙進出してねえし、する気もねえし。
 - ショアン.....ケードウワンと関係が悪かったために、参戦を引き伸ばしているうちになんか皆死んだ。
 - パハール.....

《本国ssの状況》

- ユエスレオネ連邦
 - ウードヴァズネ政権
 - お菓子とエレナが分裂の尻拭いとして作った再統一のための会議による社社連立
 - 有名人が片っ端から脱落しており官僚メイン内閣
 - この時期から構成主体特別枠が導入
 - 社会行動党の国政進出
 - デュインではメイナ党政権
- 南サニス連合王国
 - エミリア国王・ウォルツァスカイユ摂政

- ウォルツァスカイユ大学在学中のため細かいとこまでは目が回らず
 - lexerl.fadiesnurdia宰相政権

《れふえかすのめも》

- シルアとしてチャンタの管理主義政権は不安
 - かといってファルトクノア領になられるとそれも不安
 - シルア的には「親ファル政権のチャンタ」が生えてほしいとか思ってそう？
 - 交渉の席を用意・仲介したいな
 - シルア語では交渉の席のことを「交渉の机と椅子」というので、これを言ったところ、シルア語が分かる外交官が首を傾げながら、直訳して本国に伝えたため、ラヴィル首相が「きっと高級の椅子と机が用意されるに違いい！」と目を光らせたという。
 - 誤訳されていたことをシルア主権側は認知しており、用意していた机がオンボロだったために急遽(安普請で)机を用意してもらった
 - この一件以降、シルアにおける伝統的な高級消費財産業を復興する試みが行われる
 - 一日で高級な机といすを！？出来らあ！！
 - 熱帯の島嶼部という環境で発展したイアルィダ製の螺鈿細工や紫檀家具などを思いつくなどした
 - →いいわね、採用(Lefe)
 - ラヴィル首相「うーん、まあ、悪くないけど思ってたのと違うな……折角同盟国に用意してもらったし文句言えないが……」
 - リドスウニファ革命以後、シルアにおいて高給なものは基本的に官僚や政府機関などでは使われない傾向があったよ
 - 故にその手の高級品産業は宇宙進出前は壊滅寸前であり、エルトリアとの接触で見直されが始まったばかりだったよ
 - この手の一件以後外国向けの机やいすが無駄に豪華になって、シルア政府機関もそれに倣うようになったよ
- シェフィーツ・シャラカさん(しゃしゅの人)について、お話しします
 - 中型艦1隻、小型艦2隻がぼろっぼろの状態でチャンタ付近まで逃亡
 - 1735年、29歳
 - チャクムさん「先に宣言しておく、私なら君たちの三隻で追ってきた奴等を討ち滅せる」
 - シャラカさん「(聞き難い戦略ZHL兵器クラスの威力の暴言)」
 - チャクムさん「本当の強さが知りたいなら、付いて来るが良い(名刺サッ)(無言で去る)」
 - →「チャクムとやらはどういうやつなんだ……？」
 - という流れからチャンタ星空軍士官に志願
 - 堅実なやり方のチャクムさんと対照的に、シャラカさんは勘と経験で動いてそう
 - お互いの短所長所を補ってほしい
 - その後はチャクムさんの先導の元チャンタに不時着するも、現地人に船員分の治療を施された(複雑骨折＋熱傷＋凍傷で、チャンタの麻酔技術が無ければ切除時の痛みで死んでた)ことから「ハルトシェーガルに対しての恩義」が生える
 - 士官学校で一人だけ野生のオーラを放っていてほしい
 - もしかしたら艦隊戦で追われて切断治療とかしてて、それが理由…？

- チャンタにシャシュ由来の変態機動戦闘を教えこんでほしい
- チャンタ本国までファルトクノア宙軍が迫った際に盛大に抵抗して爆散してほしい
 - 宝石の透き通った天球
- イメージは「男勝りな女騎士」かな？目は透き通ったあおみどり
-  Halo Infinite マルチプレイ チュートリアル fafsのイメージ

《地図》

 Sléan1780.png

《開戦までの流れ》

1767年	12月8日	ファルトクノア共和国・天牌公国の統合を閣議決定
	12月13日	ミルドネジア公国、ファルに圧力
	12月15日	春「編入は妥当」との声明
	12月19日	<u>連盟派結成</u>
	12月21日	ラヴィル「武力抗争もやむなし」
	13月4日	春・ケードゥアン国境で衝突。5人死亡。プルス「当事者は平和的解決を模索せよ」
	13月5日	春、リスヒューメに参戦要請
	13月6日	梨・沙王室御前会議にて参戦決定
1768年	1月5日	クシエル王国「異世界人がスラーンに巢食う」連盟派に参加
	1月7日	クシエル国境で衝突。17名死亡。
	1月9日	ハディマ王国・ヴィナヤ王国「関わるつもりはない。平和的解決を」
	1月11日	連盟派諸国首脳会談、異世界勢力への断固対抗を宣言。
	1月12日	春、梨・CQD・東ラを糾合し、統一国家主権戦線設立。連盟派への対応を協議。
	1月15日	春、西ラに東ラとの統一と引き換えに参戦を要求。西ラ同意し、統戦派に参加。

	1月17日	連盟派、ショアン王国に参加要求。 諸「準備が必要だ」
	1月20日	春・ケ西側国境で大規模な衝突。 春「ケードゥワンは国境を越えて侵攻してきた！」
	1月21日	ケ「春が侵攻してきた！」 春「おめえだろうがボケが!?!」 ケ「じゃあ、戦争で白黒付けるぞ」 春「👊」 梨「治安維持だけって聞いてたんですが」 CQD「なんか練習しろって言われた」 東西ラ「統一のために！」 
	1月22日	梨・沙臨時王室会議。梨軍並びに沙王室軍梨駐留部隊の戦闘行為を許可。 お菓子「えー、参戦しなきゃだめ？」 リーニア「やれ」
	1月23日	ウードヴァズネ「おめえ何勝手に戦争始めてんねん」 ラヴィル「うるせえしね」
	1月25日	ファルトクノア陸軍X個師団を国境に貼り付け、リスヒューメ宙軍に陸軍輸送を要請。 ファルトクノア宙軍に護衛を指示。
	1月26日	コトー・スローとショットー・グンティの間の星域で輸送部隊とそれを援護する統戦派艦隊とそれを防衛しようとする連盟派艦隊による戦闘が発生。「1月26日の宙戦」
	1月28日	梨宙・海軍、東バンミス諸島への強襲揚陸作戦を開始。 ファルトクノア「あれ？戦線広がってるんだけどなんで？」 梨「島だけならいける。こちとら海軍国やぞ。」
	2月10日	ケードゥワン中部地域まで春軍が進駐、梨は東バ諸島の東側小島を軒並み制圧。
	2月11日	ケードゥワン、スラーン宙域の諸国に助力を要請。これにチャンタが答えることになる。

	2月12日	グライニア、黙殺。 プルスティア、グライニアの姿勢を批判。
	2月13日	リスヒューメ、イシュファント・シルリスタを旗艦とする第一艦隊をチャンタに派遣。
	2月15日	ファルトクノア宙軍省「勝手に艦隊送るなや!? ……いや待てよ、なら実験材料にしてもええな ……主力戦艦の援護もあるし……チャンタ、実験材料になれよ……？」 →第一実験艦隊をチャンタに派遣
	2月20日	リミアン技術中佐の進言により、準備ができていない第一実験艦隊の出撃を延期。代わりにファイユ上級兵曹の率いる第一輸送艦隊が出撃。 チャンタ防宙ラインにファルトクノア×リスヒューメ艦隊が肉薄、シャラカとチャクム率いるチャンタ空軍が迎撃に周る。 死闘の末、チャンタ空軍はボロボロになりながらファル×リス連合艦隊を引き帰らせることに成功する。
	2月22日	梨、トゥルジリア・ラフテを旗艦とする第二艦隊、エミリアを旗艦とする第一航空艦隊、ウォルツァスカイユを旗艦とする第二航空艦隊、ジスティジャを旗艦とするWP戦特化艦隊の派遣を決定。 ファルトクノアは第一実験艦隊の投入を決定。護衛に第二輸送艦隊。 リミアン技術中佐率いる修理チームが第一輸送艦隊の入渠の対応を開始。 国内の大型艦がイシュファント・シルリスタの修理が終わるまでの二週間のあいだ0隻に。
	2月24日	クシエルに対し春が国境から、梨が海岸から上陸。クシエルは二正面作戦を強いられる形に
	2月26日	チャンタ防宙ラインにファルトクノア×リスヒューメ艦隊が肉薄、シャラカとチャクム率いるチャンタ空軍が再び迎撃に周る。半壊状態であったチャンタ軍に対し、連合軍が勝利。ハルトシェーガル星域の宙軍戦力を無力化。
	2月30日	ケードウワン、鹵獲したウェールフープ兵器によって奮戦。占領地域を45%押し返すことに成功。
	3月1日	梨、戦略イールドの使用を検討。 春、NZWPの使用を検討。
	3月3日	梨、戦略イールドを使用。ケードウワンの鹵獲兵器への対抗策であったが、通知されていなかったファルトクノア陸軍兵士が大量に撃破される。占領地域を更に20%撤退。
	3月4日	ファルトクノア宙軍省、リスヒューメ軍にウェールフープ無効化戦闘を強制することを提案。内閣は

		否定。
	3月5日	梨、前線に大量のグライニア人部隊を投入。非WP戦の本格化
	3月8日	ケードゥワンのWP兵器部隊がグライニア人部隊と対峙。大量の死傷者を生んで、グライニア人部隊は撤退。 春、NZWPを主要都市の一つXXXXに発射。ケードゥワン側に戦闘を止めなければ一日ごとに主要都市を破壊すると警告。
	3月9日	警告通り、春は次の目標である主要都市XXXXにNZWPを発射したものの、迎撃される。春は迎撃の詳細を理解できなかった。 このとき迎撃を果たしたケードゥワンの兵器はインテグレーションから齎された最新兵器XXXXであった。
	3月13日	春空軍省大臣、NZWP発射を一時的に中止すると宣言。
	3月15日	クシエル王国の首都○○が陥落。クシエル王国は降伏を宣言。 春軍が制止したものの、梨軍が王冠を奪い本国に持ち帰る。
	3月20日	ルティーセ学院大学にて戴冠式。ウォルツァスカイユがクシエル王に。ちなみにこの当時南沙王はまだエミリアさん。
	3月21日	ミルドネジア公国、孤立したファルトクノア軍の占領下にあるケードゥワンの南西部への上陸作戦を決行。大量の捕虜を獲得。
	4月2日	ファルトクノア陸軍による大規模攻勢。奮闘虚しく、取り戻した占領地域が押し返される。
	4月6日	第一輸送艦隊の修理完了。ハルトシェーガルへの降下作戦を実施。連盟派の宙軍に対応できる余裕はなかった。
	4月12日	星間軍事予備組織(PJCQD-SAFA)によって、ファルトクノア共和国開発中の同盟リンク型機兵(アステゼイトの前身)が実験導入。 ケードゥワンの国境線を更に北進。
	4月18日	ケードゥワン降伏。スラーン本星での戦線は、ミルドネ・ファル間での海上戦争に限定化されていく。
	4月21日	

	書くな	上に行を挿入しろ
--	-----	----------